

四柱推命講座 7 格局の説明

四柱推命 講座 7

格局の説明

****重要****

命式を見る際格局をまずは判断します。

格局とは大運での喜神、忌神どちらかを判断する為に
使いますので重要となってきます。

格局の判断は天干を重視し、地支は天干の根の判断になります。

格局には『外格』か『内格』に分けられます。

内格には『身強の内格』と『身弱の内格』があります。

まずは内格の説明をしていきます。

内格の説明

身強の内格とは、天干に日干と日干を生じる印星が強く、他の五行よりも日干が強くなることを言います。

日干が強い為、弱めてバランスをとれば運が上がります。

喜神は「食傷、財星、官星」です。

身弱の内格とは、天干に日干とは別に強い五行があり、日干が弱くなることを言います。

日干が弱い為強めてバランスをとれば運が上がります。

喜神は「比劫、印星」です。

外格の説明

外格には**五種類**あります。

外格とは、五行が偏った命式のことを言います。

従旺格（じゅうおうかく）

比劫を中心とした五行が強くて、食傷、財星、官星に根がない命式です。

天干に官星があり、官星に根があったら従旺格にはなりません。

喜神は「比劫、印星」です。

従強格（じゅうきょうかく）

印星を中心とした五行が強くて、食傷、財星、官星に根がない命式です。

天干に財星があり、財星に根があったら、従強格にはなりません。

喜神は「比劫、印星」です。

従児格（じゅうじかく）

食傷を中心とした五行が強く、印星がない命式です。

印星があっても、印星に根がなければ成立する場合があります。

印星が1干1支あったら、従児格は成立しません。

喜神は「食傷、財星」です。

従財格（じゅうざいかく）

財星を中心とした五行が強くて、印星が天干にない命式を言います。

印星に根がない場合、成立する場合があります。

印星が1干1支あったら、従財格は成立しません。

喜神は「食傷、財星、官星」です。

（食傷と財星の組み合わせか、財星と官星の組み合わせのどちらかになります。）

従殺格（じゅうさつかく）

官星を中心とした五行が強くて、印星と食傷がない命式です。

印星や食傷があっても、根がなければ成立する場合があります。

印星が1干1支あったら、従殺格は成立しません。

食傷が1干1支あったら、従殺格は成立しません。

喜神は「財星、官星」です。

各局の説明は以上になります。

各局のまとめ

- ・身強の内格
- ・身弱の内格
- ・従旺格（じゅうおうかく）
- ・従強格（じゅうきょうかく）
- ・従児格（じゅうじかく）
- ・従財格（じゅうざいかく）
- ・従殺格（じゅうさつかく）

***格局は絶対ではありません。**

これはあくまで理論であり喜神と忌神を判断するもので、これだから良いなどはありません。

四柱推命を勉強していくと、身弱だからダメと言う鑑定士さんもでてきますが、そんなことはありません。

昔は意見を言える、強くあるが良いとされていたので、このような言葉や解釈になったと思いますが、現代では全くそのような事はありません。

私の判断は

身弱の内格の人は『外向的』で

身強の内格の人は『内向的』だと判断しています。

外向的とは会社や組織、チームなどでも
円滑に物事を進めることができ、現代では必要なスキルです。

内向的とは自分の意思が強く、
どちらかと言えばワガママです。
組織よりも一人仕事や少人数、独立傾向になりがちです。

外格はその通変の特色が強く出やすくなります。

間違っても命式が良い悪いで判断しないでください。
この世に生まれてきた人が、良い悪いなどと
一人の人を判断できるはずがありません。

もし命式のことでもこれがダメ、悪いなどと
言っている人がいたら、スルーしてください。
ただのポジショントークにすぎません。
占い師は人を開運する方向に導くことが大事になります。

動画解説 7

<https://youtu.be/pv5daQW5B5Q>